

臨床セミナー WORK DISCUSSIONの理論と実践

くわな心理相談室 〒511-0811 桑名市東方山手通155-1 シャトレ桑名201

Tel & Fax 0594-27-3185

E-mail: cpkuwana@pp.iij4u.or.jp

セミナー・リーダーの養成をめざして

ワーク・ディスカッション・セミナーは、現代精神分析を応用したグループワークです。対人援助に従事する専門家・非専門家向けの「援助の質の向上」を目的とした定期的な訓練であり、参加するメンバーのケアの場でもあるのです。

医療や教育、ソーシャル・ケアの現場が、つねに非常に困難を伴うことは、洋の東西を問いません。ワーク・ディスカッションでは、その困難な仕事の一場面を主観的・客観的に観察し、その観察記録をもとに、セミナー・リーダーとともにグループで話しあいます。

この話し合いでは、このディスカッション自体を現代精神分析や集団理論の観点から考え理解するプロセスが重要視されています。これが単なる事例検討やグループスーパービジョンと異なる点です。

ワークディスカッションの理論と実践を体得すれば、本邦の臨床心理士の直面する多様な場面やコンサルテーションに活用できます。デイケアや病棟での一場面、学校の教室や廊下での対人場面、児童養護施設での非治療的な日常場面での交流などなど。

前半の講義では、テキストを読み合わせ、その理論を学んでいきます。またテキストで十分に触れられていない概念を解説します。

後半の実際にワークディスカッションを行います。

この臨床セミナーでは、「燃え尽き」や「仕事上のストレス」のマネジメントにも期待されているワーク・ディスカッション・セミナーのリーダーを養成することを目指しています。

テキストの紹介

テキストは下の本の邦訳です。
「Work Discussion : Learning from Reflective Practice in Work with Children and Families」
Rustin, Margaret & Bradley, Jonathan (Eds). 2008
本書は四部構成です。

第一部では、ワーク・ディスカッションの歴史や理論を概観しています。乳幼児観察やビオンの理論を活用し、現代精神分析の応用モデルとして論じています。

第二部では、教育現場や医療保健の現場、ソーシャル・ケアの現場で行ったワークディスカッションの事

例について論じています。困難をかかえた多様な現場で働く、多くの専門職・非専門職に驚異的なインパクトを与える様子が生き生きと描かれています。

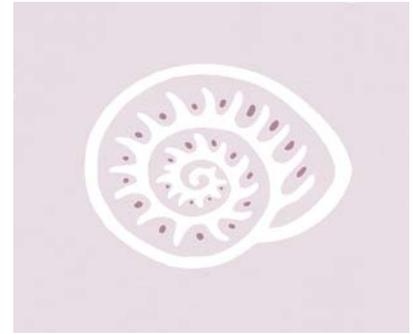
第三部では、国際的なプロジェクトでワーク・ディスカッションのモデルを適応した例をいくつか見てきます。南アフリカのコミュニティとメキシコの子どもの家での実践です。

第四部は、ワークディスカッションが暗黙のうちに持っている教育実践としての広がりについて論じています。

【問合せ・事前登録の方法】 **（締切り8月20日） 応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。**

E-mailもしくは郵送、ファックスで「WORK DISCUSSIONの理論と実践」参加希望と明記して①氏名、②所属、③住所、④電話番号、⑤メールアドレスを記載の上、お申し込みください。

（電話での問合せや申し込みは、ご遠慮ください。メールや郵送、ファックスをご利用ください。）



日時	<p>●第一土曜コース 10年9月～11年7月 毎月第一土曜日 15:15-17:15</p> <p>●第三木曜コース 10年1月～10年12月 19:10-21:10 残りは10月11月12月</p>
参加資格	臨床心理士 心理学系大学院生 教育系大学院生 福祉系大学院生
定員	15名程度
会場	くわな心理相談室 桑名駅下車徒歩1分
参加費/年	¥65,000/年 テキストの訳文と消費税を含む ※木曜コースは途中参加なので、これまでのテキスト代を含め¥25,000です。
講師	鈴木 誠 臨床心理士 日本精神分析学会認定心理療法士 東海開業臨床心理士協会正会員 くわな心理相談室 主宰